県内外から注文続々

盆栽サクランボ　出荷始まる

河江　憲

盆栽サクランボの出荷が始まった。「さくらんぼの里」東村山郡の農家が三年前から売り出している。「新鮮」、「風雅」と盆栽の高い人気が受けてることしも出荷は好調という。

この盆栽サクランボは同郡三軍地区のサクランボ農家が新たの盆栽ブームに目をつけてサクランボの盆栽化を試み、農歴五十年以内の「ミニ」サクランボの農産に成功して売り出した。

ことしは林部賢一さんと、菊地敏郎さんらが盆栽づくりを行い、鉢植えで三年目ほどの苗木を出荷する。既には花咲きされたサクランボは小さい。もの五、六個、多いものは四、五十もの実がなり、色づき始めた。

盆栽サクランボは同地区にやってくるサクランボ観光客がお土産用として多く買っていくが、県内外の盆栽からの引き合いのほか、東京、早くも県内外に出荷されている。価格は鉢植え、実の数などによるが、ちょっとしたもので一万円から三万円。自動車のトランクに入れて手軽に運べることもあって山形などから買いにやって来る人が多い。

実も色づき始めた盆栽サクランボ